

平成27年度 グループホームみのりかじか 事業計画

事業所名	グループホームみのりかじか
施設長・管理者	施設長：太田 康文 管理者：山栴 いづみ
実施事業	地域密着型（介護予防）認知症対応型共同生活介護
開設年月日	平成16年4月1日
所在地	鳥取県東伯郡三朝町山田653-1
正規職員数	2名
臨時職員数	11名
パート職員数	2名
定員	18名
職員配置	施設長(兼務)1名・管理者1名・介護支援専門員1名 介護職員13名

1. 基本方針

認知症になっても、地域の中であたりまえの暮らしができるように、ご利用者様の個性を尊重し、家庭的環境のもとで一人ひとりの力を引き出せるよう支援します。ご利用者の心身の状態を把握し、医療機関と連携を図り適切な対応に努めます。地域の一員として、地域活動を通じ馴染みの関係を大切にしていきます。

2. 運営方針

- (1) ゆったりと過せる家庭的な場を築いていきます。
- (2) 一人ひとりの個性を尊重し、持っている力を引き出すとともに、生き甲斐をみいだしていきます。
- (3) 精神的・身体的な不安を取り除けるよう支援していきます。
- (4) 住み慣れた地域へ出かけていき、馴染の関係をたちきらないよう支援していきます。
- (5) ご家族様・地域の皆様と連携を深め、意見・要望を受け止め信頼関係を築いていきます。

3. 主な実施事業

(1) 施設整備計画

- | | | |
|---|--------------|---------|
| ① | 来客者用周辺駐車場整備 | 500千円 |
| ② | 1階・2階洗面台取替修繕 | 350千円 |
| ③ | 避難路の整備 | 201千円 |
| ④ | エレベーター修理 | 1,100千円 |

(2) 事業活動

- ① 音読教室（月1回）
 - ・山田地区の方を対象に、詩、物語、短歌、新聞のコラム等を朗読し、手遊びや唱歌を交え、公民館で認知症予防と地域との交流を深めることを目的とします。
- ② 地域交流会
 - ・三朝町の住民の方々をお招きし、昼食会、出し物等を楽しみ、ご利用者様と楽しいひと時を過ごします。デイサービスセンター三朝みのりと共同で

開催することにより、地域に開けた施設作りを目指します。

4. 安全管理・衛生管理

- (1) ご利用者様の施設での生活が「安心・安全」に生活して頂けるよう、事故防止・設備・備品等の整理整頓・福祉用具等のメンテナンスなど環境整備に努めていきます。
- (2) 衛生管理と感染予防対策に取り込み、危険管理を徹底していきます。

5. 防火・防災・救助体制

- (1) 防火管理者が、ご利用者様の実態に即した防火、防災、避難訓練（年 2回）計画実施していきます。
- (2) 消防設備の点検・避難経路の確保（積雪の時期）をしていきます。
- (3) 防災情報の把握・防災マニュアルの整備等、防災意識の徹底と防災教育に取り組み、ご利用者様の安全に対応が出来るように取り組んでいきます。
- (4) 三朝町と三朝町災害時における要援護者の一時非難のための当施設利用について提携をしています。

6. 職員の資質の向上と研修

- (1) 外部研修・発表会への参加
 - ① 鳥取県社協・グループホーム協会・三朝町包括等、主催の研修へ参加して知識・技術のレベルアップを図っていきます。
- (2) 法人内部研修への参加
 - ① 専門部会を通じて、マナー、介護知識、技術を習得していきます。
- (3) 施設 OJT・職場研修の実施。
 - ① 毎月定期的に勉強会（職員が勉強したいテーマを決めて）を行い、全職員のスキルアップを図っていきます。
 - ② 外部研修内容を、伝達講習をして知識・技術を共有していきます。
 - ③ 新採用職員は知識・技術・経験の高い職員により実務を通した研修を行い、レベルアップを図っていきます。
- (4) 職員の資格取得のための取り組み
 - ① 介護福祉士・介護支援専門員・認知症ケア専門士などの資格取得を奨励し、知識・技術の取得支援に努めていきます。

7. 各種団体との連携と地域交流

- (1) 三朝町、保険、医療、福祉サービスを提供する事業者との綿密な連携のもと、総合的なサービスの提供に努めていきます。
- (2) 地域の環境整備や美化活動を行うと共に地域と連携し、地域住民や各種団体、保育園、学校等との交流を積極的に進め、地域に開かれた施設作りをしていきます。

8. 年間行事計画等

別紙のとおり